

各 位

会 社 名 寿製菓株式会社

(URL <http://okashinet.co.jp/>)

代 表 者 名 代表取締役社長 城内正行

奥大山で在来種「トチノキ」植林ボランティアを開催

当社は、平成30年11月18日に寿製菓株式会社が、環境保全を目的に在来種トチノキを育成する為、江府町役場、御机老人会との共催で植林ボランティアを日野郡江府町御机にて開催致します。



当社（寿製菓株式会社 鳥取県米子市代表取締役社長 城内正行）は、1993年「お菓子の壽城」を開業して以来、「とち餅」を製造直販してきました。山陰地方の伝統食材である栃の実（トチノキ種子：写真左）の食文化は、縄文時代より受け継がれてきました。また、世界的にも栃の実を食用とする国は日本だけであり、重要な固有文化と捉えています。しかしながら、時代の変化とともに衰退の一途をたどっているのが現状であり、このこと

に危機感を感じ、現在まで伝統の味の保存と後世への継承に努めてきました。

継承活動の一環として、2008年より毎年9月に江府町にて、自生するトチノキの生態調査と栃の実を採取して製菓原料への利用を実施してきました。今年度も、一般の方にボランティアの募集をし、参加者に栃の実拾いを通じて伝統文化への理解を深めて貰い、自社製品「とち餅」のファンとの交流を図ってまいりました。

近年では、トチノキの個体数の減少により栃の実の入手が困難になっていることから、今年度より同地区に於いて栃の実の収穫量を増やす為、トチノキの定植活動をスタートします。収穫した栃の実の一部を苗木栽培に利用し、生育した苗木は奥大山の森への定植に活用します。今後は、こうした活動の輪を県内外に広げていき、山陰の特産品として定着を目指します。また、2002年より栃の実の健康機能の研究に着手しており、健康茶「栃の実茶」をはじめとする機能性食品や化粧品の開発に注力し、栃の実の新しい活用法を模索していきます。

当日（平成29年11月18日土曜日）スケジュール：

10:00～12:00 トチノキ植樹活動（江府町大字御机 奥大山スキー場付近）
集合場所（江府町大字御机 奥大山スキー場駐車場）

当日連絡先：090-2804-8324（森田）

【本リリースに関する問合せ先】 寿製菓株式会社 新規事業部 マネージャー 森田 佳純

鳥取県米子市旗ヶ崎 2028/TEL:0859-21-8887(代表)/FAX:0859-21-8919

以上